

圏央道開通区間概要

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約196kmが開通しています。

- 今回開通区間の概要

路 線 名：国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

○開 通 区 間：久喜白岡JCT(埼玉県久喜市下早見)^{く き し し も は や み}～境古河IC(茨城県猿島郡境町西泉田)^{さ し ま く ん さ か い ま ち に し い す み だ}

○開 通 日：平成27年3月29日（日）

○延 長：19.6km

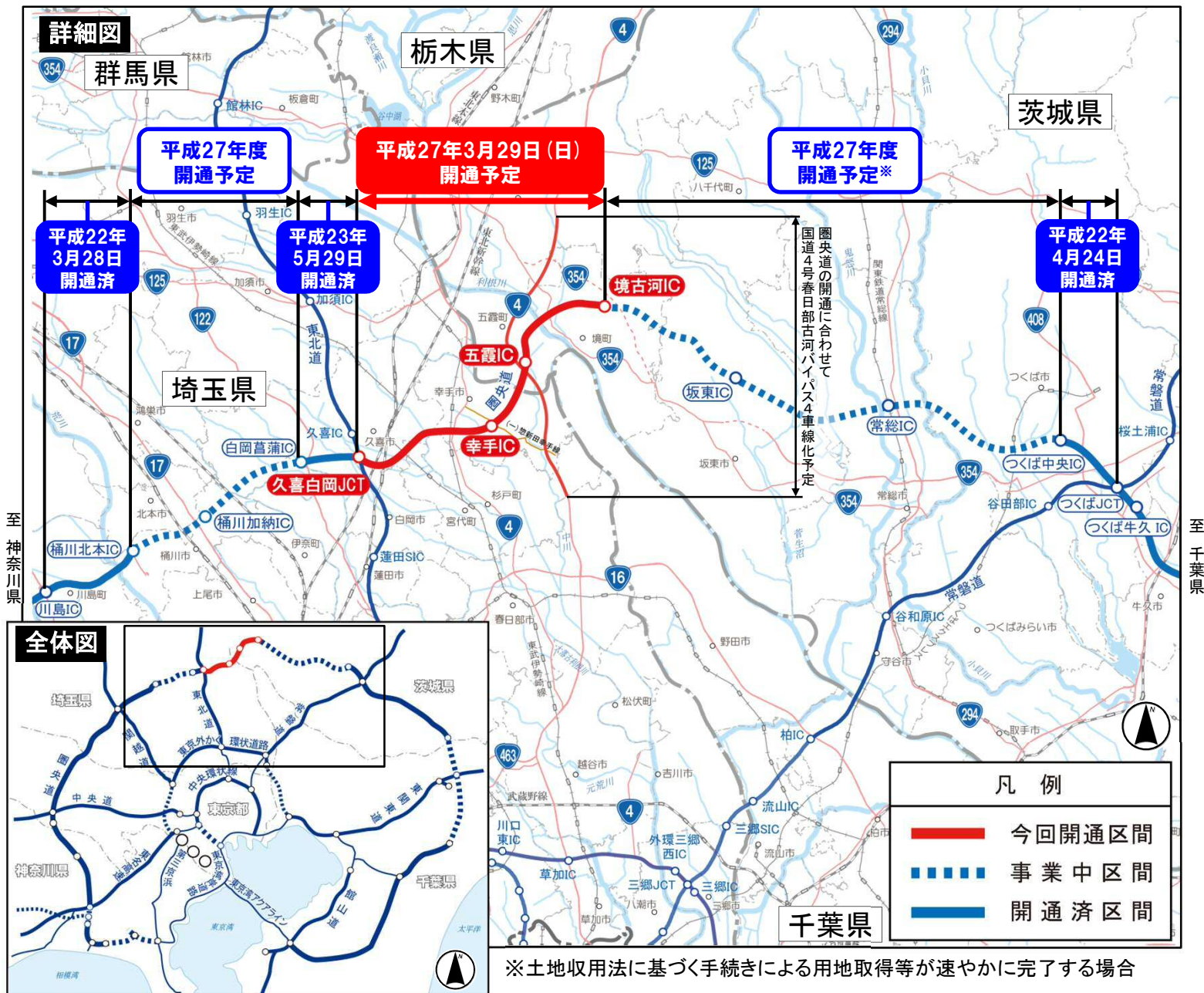
○車 線 数：暫定2車線

○開 通 IC：幸手IC、五霞IC、境古河IC

○アクセス道路：(一)惣新田幸手線^{そう し ん で ん さ っ て せん}、新4号バイパス※、国道354号バイパス

※圏央道の開通に合わせ4車線化整備中

■今回開通区間の位置図



高架部

(単位 : m)

土工部

【今回開通区間の状況】

凡 例

- 今回開通区間
- 事業中区間
- 開通済区間

【インターチェンジの状況】

さかいこ が いばらきけん さしまぐんさかいまちにしにみだ
 境古河IC (茨城県猿島郡境町西泉田)

至 宇都宮

至 千葉

至 五霞IC

至 坂東IC

(平成27年1月撮影)



3/6